科目名 病理学 時間割表記名 病理学	配当時期 1年次 前期 単位数 1単位 時間数 15時間(8回)	講義担当者 村山 寿彦	
事前学習内容 解剖生理学・生化学・微生物学と関連させながら講義に参加する。			
授業目標 1. 人体組織における病的状態の原因・発生機序・経過について理解する。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1.病理学で学ぶこと 1)病気の要因 2)医原病と公害病 3)病気の分類 4)病理診断とは	講義	テキスト①
2	2.細胞・組織の障害と修復 1)細胞の損傷とその原因 2)細胞の適応現象 3)細胞の死 4)細胞と組織の変性 5)組織の修復と創傷治癒	講義	テキスト①
3	3.循環障害 1)浮腫 2)充血とうっ血 3)出血 4)血栓症 5)塞栓症 6)虚血と梗塞 7)側副循環による障害 8)ショック 9)高血圧症 10)DIC	講義	テキスト①
4 5	4.炎症と免疫 1)炎症とその分類 2)免疫と免疫不全 3)アレルギーと自己免疫疾患	講義	テキスト①
6 7	9. 腫瘍 1)腫瘍の定義と分類 2)悪性腫瘍 3)腫瘍の発生病理 4)腫瘍の診断と治療	講義	テキスト①
8	筆記試験 45分	試験(筆記)	
受講上の注意 事前学習・事後学習をきちんと行う		評価方法 筆記試験	
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[1] 病理学 医学書院 参考文献 ①系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[2] 病態生理学 医学書院			